

平成 27 年 11 月 吉日

「HIV 職業的曝露後の予防内服整備状況」に関するアンケート調査（ご依頼）

拝啓

時下、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

すでに報道等でご存じと思いますが、沖縄県は 2014 年報告数において人口 10 万対で見ると HIV 感染者数は東京都、大阪府について第 3 位、AIDS 患者数では第 1 位となっております。このような状況の中、感染に気づいていない HIV 感染者が拠点病院以外の病院、診療所等を受診する機会が増えております。

当院のデータでは、県内で針刺しなどの職業的血液・体液曝露により、曝露源の HIV 検査を実施して、はじめて HIV 感染が判明し、曝露後 HIV 感染予防内服を開始した事例が 4 例確認されております。これは全国的にも極めて高い件数となっており、本県における潜在的 HIV/AIDS 感染者数が多いことを示唆するものと思われまます。

このような背景から、HIV 職業的血液・体液曝露対策事業を推進するための基本データとすべく、今回沖縄県内の病院、診療所等において、HIV 職業的血液・体液曝露後の対策マニュアルや予防内服薬の整備状況に関するアンケート調査を実施することと致しました。アンケートにご協力頂きました御施設名などの特定される情報は遺漏がないよう厳重に管理し、得られた解析結果は本アンケートの目的のみに利用致します。解析後には全てのアンケート用紙は廃棄致します。

つきましては、ご多忙中誠に恐れ入りますが、本調査の主旨をご理解頂き、アンケートへのご協力をよろしくお願い申し上げます。

敬具

差出人

琉球大学医学部附属病院 薬剤部

薬剤部長 中村 克徳

お問い合わせ先：

〒903-0215

沖縄県中頭郡西原町字上原 207 琉球大学医学部附属病院

薬剤部 諸見 牧子

TEL : 098-895-3331 (内線 : 4757) Mail : moromi-ryk@umin.ac.jp